

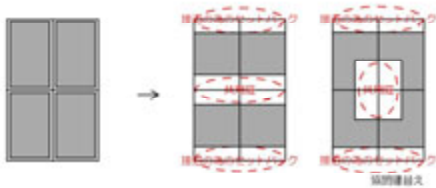
想定計画地

東京都北区に赤羽という密集市街地が存在する。
高密度で狭小な敷地、迷路のような細い路地が多くオープンスペースがないという居住環境の問題を抱える密集市街地である。



<協調建替え>

- ・数件単位でまとめて建替えを行う
- ・接道条件を満たさない敷地も建替えができる
- ・以後の建替えも可能とする
- ・密集市街地における建替え方法のひとつ
- ・壁面の共有化やまとまった中庭の確保が可能



全体計画

動線計画



車の主な交通範囲を敷地周辺にまわし、計画地内は歩行者優先のスペースとする。

残す路地



一部の道路を拡張し、それ以外の路地は残す手法をとる。

歩行者優先道路



防災上の向上のため小規模な広場やポケットパークを点在させる。

計画地



4~10軒の協調建替えを行い、点をさせていく。小規模開発が点在することで不燃化促進地域となる。

計画地内道路



計画地内に道路を設け、開発した区画同士に関係を持たせる。これは災害時の避難動線にもなる。

木密空間の分析とモデル化

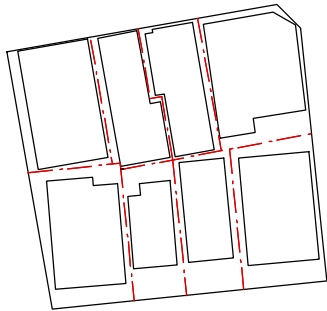
密集市街地の魅力を作っているものを分析し、計画手法として応用できるようにモデル化を行った。
 モデル化：はみ出る 繋げる 分割する またぐ 回す



8軒長屋計画

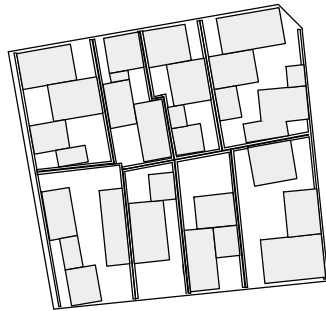
- 計画条件
- ・計画地：赤羽4丁目 建蔽率/容積率：60%/150%
 - ・2世帯住宅3軒、核家族用住宅3軒、商店兼住宅2軒

- 現在の状況
- ・計画地には8軒の住宅が建っている
 - ・5・6・7は接道条件を満たさず、個別建替えは不可能な状況

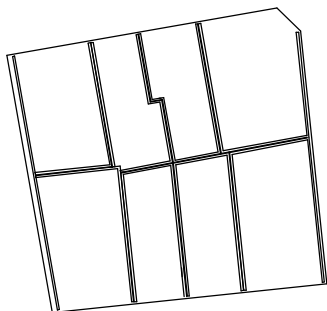
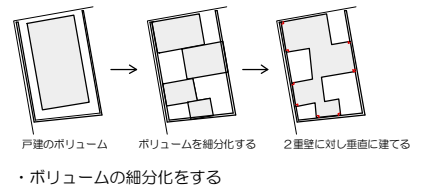


既存の家屋

- ・狭小の隙間
- ・劣悪な環境
- ・摂動を満たさぬ敷地

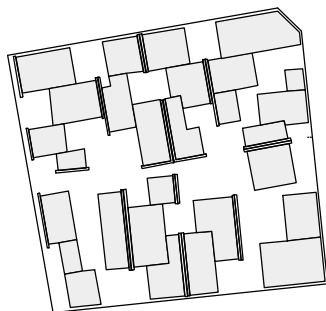


分割する —ボリュームの細分化—



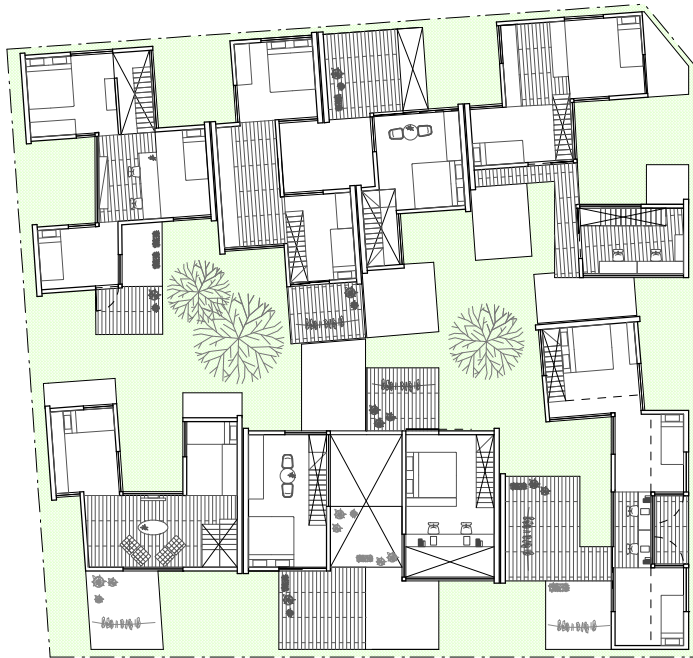
繋ぐ —壁の共有化—

- ・敷地境界は残す
- ・壁を共有する
- ・個々の建替えは可能

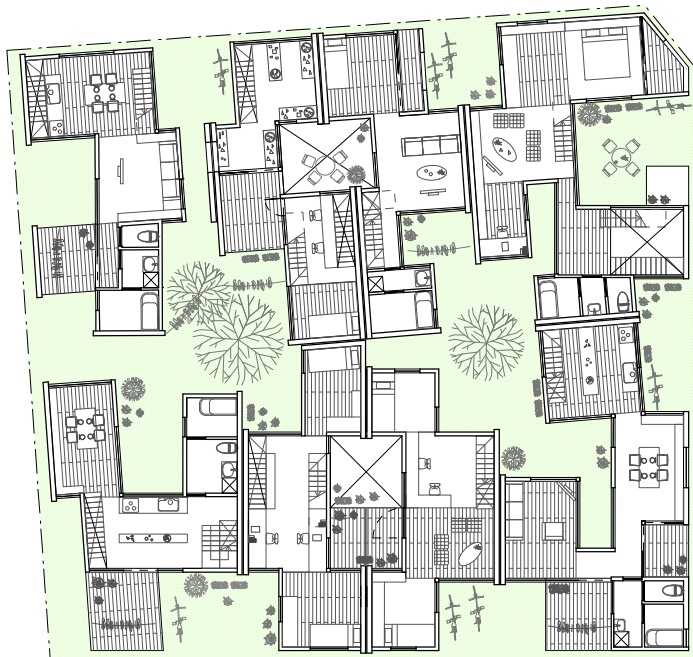


まわす —ボリュームを振る—

- ・2重壁に対し、垂直に住戸の壁を建てる



3階平面図

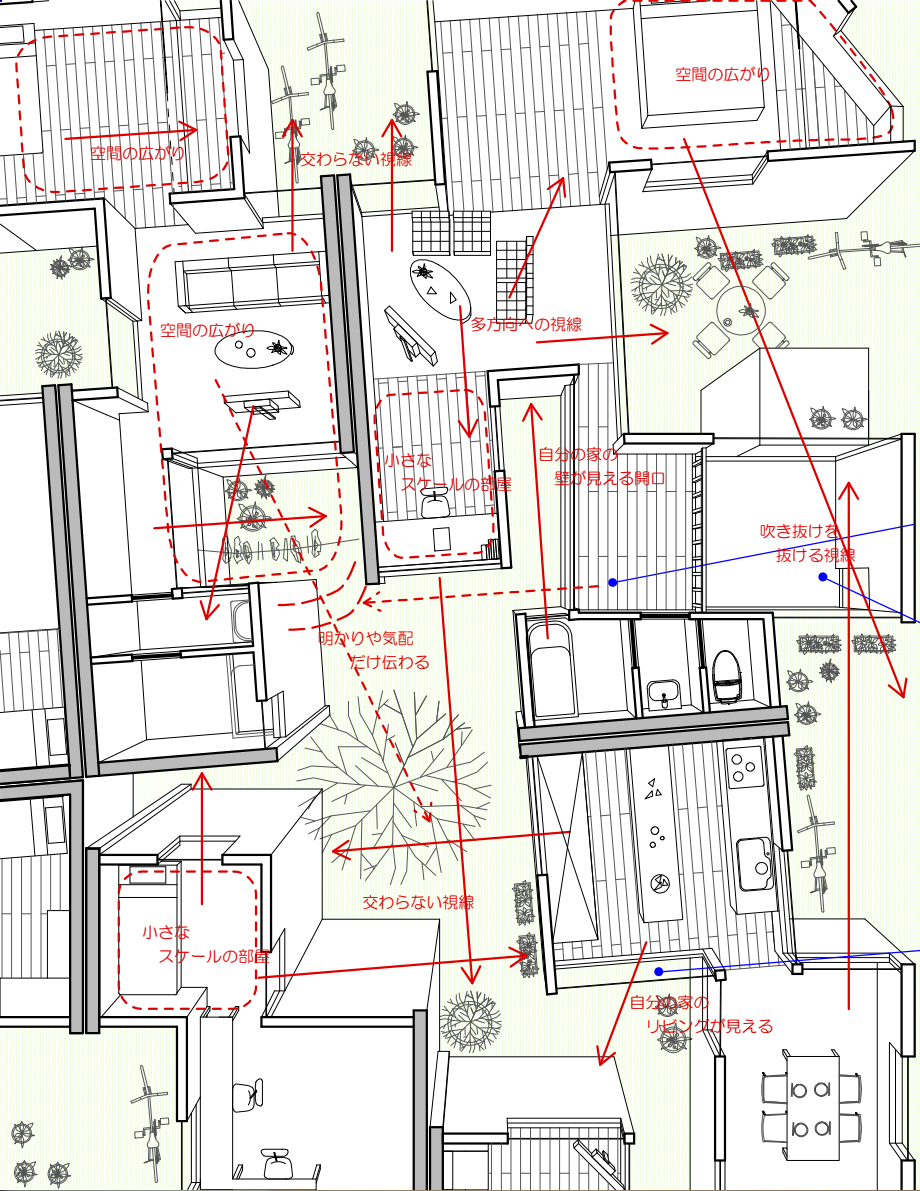


2階平面図



1階平面図 1:300





4軒の家が入った平面パース
 非常に密集した環境なので、お互いの関係性は
 計画的に作り出している

隣の家の明かりや気配だけが伝わる。

隣の家の吹き抜け部分に視線が行くが、
 視線がぶつかることはない。

視線が交わっても平気な同じ住戸間では、
 開口を大きく設けている。

